

2018年12月12日

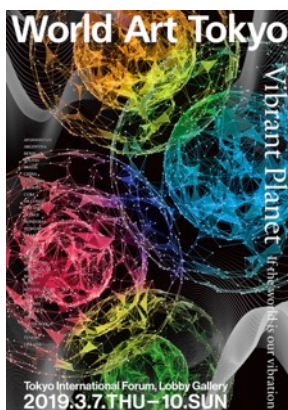
報道関係者各位

「アートフェア東京2019」と同時開催する、31ヶ国が参加する国際展
アジア・大洋州・中南米・欧州・中東・アフリカから
駐日大使に選抜された自国代表アーティストが東京に集結し、
東京から世界のアートシーンの今を発信します。

一般社団法人 アート東京は、駐日大使の推薦により選ばれた、各国代表アーティスト31名が参加する国際展「World Art Tokyo」を「アートフェア東京2019」と同時開催致します。

「World Art Tokyo」は、多様な文化的背景や世界情勢の中で活躍している各国アーティストに表現の場を提供する事を目的として昨年新設された展覧会です。

9カ国の参加により開催した初回に続き、第2回目となる本展は31カ国の新進気鋭のアーティストが参加します。次世代を担う東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻の学生2名による共同キュレーションで作り出される今回のテーマは「World Art Tokyo: Vibrant Planet —If the world is our vibration—」。複雑に絡み合う世界の中で、歴史、地理、アイデンティティをもう一度問い直すきっかけを生み出し、それらの「Vibration(振動)」を東京から世界に響き渡らせます。



“World Art Tokyo: Vibrant Planet —If the world is our vibration—”

(ヴァイブラント プラネット)

地球上のあらゆる場所に容易に移動ができ、世界中の情報がリアルタイムに行き交い、日常的に多様な文化を身近に感じることができる現代、異なる文化は私達の生活に影響を与えると同時にアートにも多様な表現をもたらしています。

「World Art Tokyo: Vibrant Planet —If the world is our vibration—」では異文化の影響を受け、それを制作に取り入れ、ハイブリッドな作品を生み出す31ヶ国のアーティストを紹介します。作品からは、「自国の伝統(残響)と異文化の影響(反響)の共存」を、「Vibration(振動)」として感じることができ、複雑に絡み合う世界の中で、自分自身の歴史、地理、アイデンティティをもう一度問い直すきっかけを生み出します。

31カ国 参加アーティスト

[アフガニスタン] Amin Taasha (アミン・タアシャ)	[ジャマイカ] Lee-Ann Haslam (リーアン・ハスラム)
[アルゼンチン] Ad Minoliti (アド・ミノリテイ)	[韓国] Dohee Kim (キム・ドヒ)
[ベナン] Ludovic Fadaïro (ルドヴィック・ファダイロ)	[マケドニア] Jana Maneva-Chuposka (ヤナ・マネヴァ・チュポスカ)
[ボリビア] Fabricio Lara (ファブリシオ・ララ)	[マダガスカル] Temandrotia (テマンジュタ)
[ブラジル] Yukie Hori (ユキエ・ホリ)	[モルディブ] Aminath Shareehan Ibrahim (アミナツ・シャリーハン・イブラヒム)
[中国] 鄭建安 (Wu Jian'an/ウー・ジェアン)	[メキシコ] Juan Carlos Pinto (ファン・カルロス・ピント)
[コロンビア] Nicolas Estrada (ニコラス・エストラダ)	[オランダ] Henri Jacobs (ヘンリ・ヤコブス)
[クロアチア] Georgia Borcic (ジョージア・ボースック)	[ニュージーランド] Raukura Turei (ロークラ・トゥレイ)
[キューバ] Osmeivy Ortega Pacheco (オスメイビ・オルテガ)	[パナマ] Alfredo Joel Martiz Jaén (アルフレッド・ホエル・マルティス)
[コンゴ] Aimé Mpane (エメ・パネ)	[パラグアイ] Maria Liz Aquino (マリア・リス・アキノ)
[フィンランド] Maria Wolfram (マリア・ウォルフラム)	[セルビア] Marijana Anđelić (マリヤナ・アンジェリッチ)
[フランス] Julien Guinand (ジュリアン・ギナン)& 小野規 (Tadashi Ono/オノタダシ)	[南アフリカ] Joseph Nkosi (ベクムジ・ジョゼフ・ンコシ)
[ホンジュラス] Adán Vallecillo (アダーン・バジェシージョ)	[スペイン] Fernando Martín Godoy (フェルナンド・マルティン・ゴドイ)
[ハンガリー] Sándor Zelenák (シャンドル・ゼレナーク)	[チュニジア] Mahmoud Bouchiba (マハムド・ブシバ)
[イスラエル] Hilla Toony Navok (ヒラトウーニイ・ナヴォク)	[ウクライナ] Zoia Skoropadenko (ゾヤ・スコロパデンコ)
[イタリア] Matteo Ceccarini (マッテオ・チェッカーイーニ)	

キュレーション

三宅敦大 (東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻修士課程 長谷川祐子研究室所属)

Yishu Hang (ハン・イシュ) (東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻修士課程 住友文彦研究室所属)

一般社団法人アート東京 広報担当: 島田 / 岸本

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

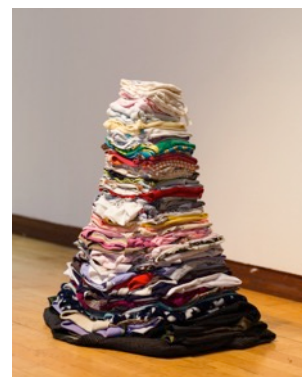
TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913 / E-MAIL: press@artfairtokyo.com



Ad Minoliti
Queer Deco (2018)



Adán Vallecillo
PROTOTYPES FOR URBAN
FOSSILS (2018)



Dohee KIM
The Pagoda for a Kalpa (2017)

「World Art Tokyo」とは

「World Art Tokyo」は、各国駐日大使の推薦による将来グローバルな活躍が期待される各国アーティストが東京に集結する国際展です。本企画では次世代を担うアートプロデュースを学ぶ学生がテーマを設定し、多様な文化的背景や世界情勢の中で活躍している各国アーティストに表現する場を提供します。本企画を通じて、諸外国との連携を強化し国際的相互交流を生み出すと共に、各国のアートシーンから生まれる未来の才能を東京から発信します。

「World Art Tokyo Vibrant Planet —If the world is our vibration—」開催概要

名称: World Art Tokyo 2019 Vibrant Planet —If the world is our vibration—

主催: 文化庁／一般社団法人 アート東京

開催日程: 2019年3月7日(木)～3月10日(日)4日間

会場: 東京国際フォーラム ロビーギャラリー (東京都千代田区丸の内 3-5-1) ※入場無料

参加大使館:

アフガニスタン・イスラム共和国大使館

ボリビア多民族国大使館

コロンビア共和国大使館

コンゴ民主共和国大使館

ホンジュラス共和国大使館

イスラエル国大使館

大韓民国大使館

モルディブ共和国大使館

ニュージーランド大使館

セルビア共和国大使館

アルゼンチン共和国大使館

ブラジル連邦共和国大使館

クロアチア共和国大使館

フィンランド大使館/フィンランドセンター

ハンガリー大使館

イタリア大使館

マケドニア共和国大使館

メキシコ合衆国大使館

パナマ共和国大使館

南アフリカ共和国大使館

チュニジア共和国大使館

ベナン共和国大使館

中華人民共和国駐日本国大使館

キューバ共和国大使館

フランス大使館/アンヌ ティ チュ・フランセ日本・ヴィラ九条山

ジャマイカ大使館

マダガスカル共和国大使館

オランダ王国大使館

パラグアイ共和国大使館

スペイン大使館

ウクライナ大使館

web サイト: <https://art-tokyo.jp/wat/>

平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業／beyond2020 関連事業